

## 防災備蓄倉庫



避難所となる小・中学校に整備した倉庫。

寸法：W616×D235×H240[cm]

(面積：14.5 m<sup>2</sup>)



倉庫を開場後、扉に取り付けてある  
板を外し、入口枠にひっかけて  
スロープとして使用して下さい。

(※板は、重いので設置・撤去する際  
には、2名以上で作業してください)



スロープを設置した状態



# ①毛布

## 真空パックにして保管

※公民館内にも 15 枚保管 (5 枚を 1 パックにして×3 個)

# ②簡易トイレセット

(処理袋 10 枚付)

# ③簡易トイレ処理袋

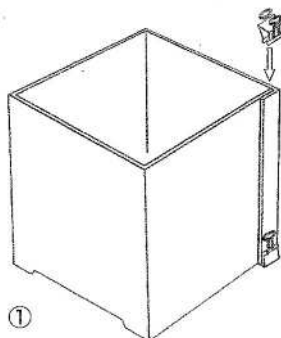
(200 枚入り/箱)



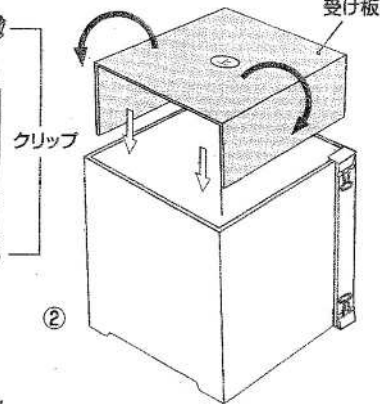
**セット内容** ●便座 1 ●スカート 1 (止めクリップ 2付) ●受け板 1 ●便袋 10枚  
●高密封チャック袋 1枚 ●脱臭剤 4個 (1袋約3回分)

### 使用方法

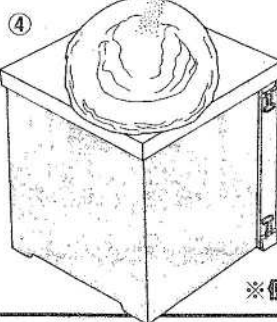
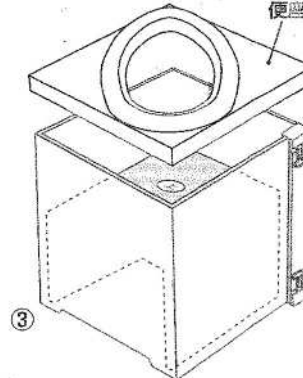
①スカートを図の様に組立て、クリップで上下を止める。



②受け板を上シールが上になるように曲げ、スカートの内側にセットする。

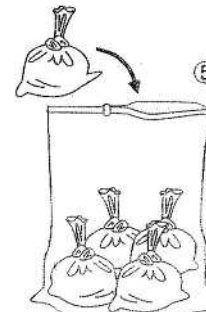


③便座を上からセットする。



④便袋を広げ、便座にかぶせてご使用ください。使用后、脱臭剤をふりかけます。

⑤ご使用後は便袋の空気をぬいて、口をしっかり結びます。高密封チャック袋に一時保管し、紙オムツと同様、可燃ごみとして処理してください。(自治体により、ごみ収集方式が異なる場合があります。)



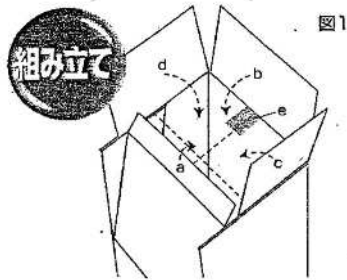
※便袋が、便座シートの代わりに清潔に使えます。高密封チャック袋



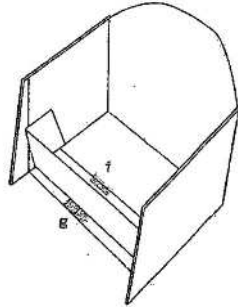
# ④肘掛付簡易トイレセット

(処理袋 25 枚付)

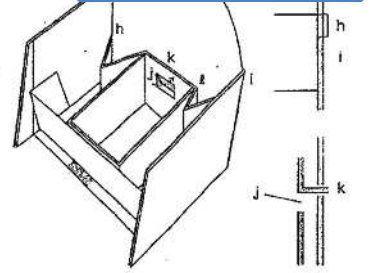
お年寄りにも使い易い肘掛付きです。



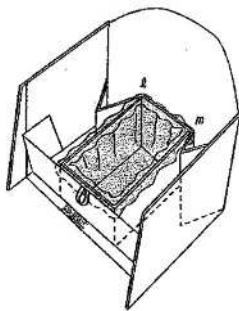
① 便器Aを広げ逆にしA底部aを内側に折り曲げ、次にb, c, dを順番に内側に折り曲げた後シールFをe部に貼る



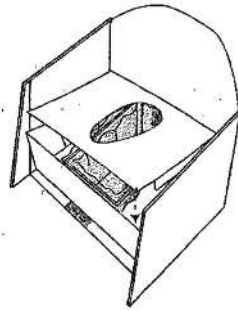
② 便器Aを正常に立て、ab部の接点f部とg部にシールFを貼る



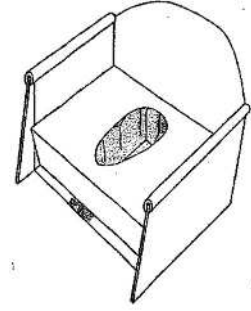
③ 内枠Bを広げ、反対に折り、折りグセをとり、便器にセットする。背面h, iにBの凸部を差し込む。次に開口部jを外に折り、小穴kに差し込みA, Bを固定する



④ 蓄便袋Gを内枠Bの切込み部l, m部に差し込みBの上側を覆うようにセットする



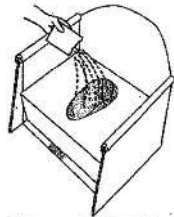
⑤ 便座Cの両サイドの折れ線を折り便器Aに接する内枠Bの両サイドに乗せる様にセットする



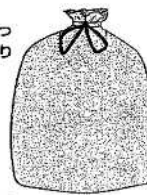
⑥ ひじかけEを便器Aの上部両サイドにセットする

## 使用方法

① 用便後分包袋を開封し、便凝固剤(H)を便にふりかける。使用しない時は便蓋(D)をする。



② 蓄便袋のヒモでしっかり結び、便器より取り出す。

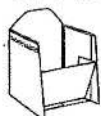


## 使用後の処理

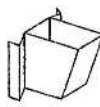
① 持ち運び袋に入れてお持ち帰り下さい。  
② 凝固した便を水洗トイレで流して下さい。

③ 不要になった時は、地方自治体の条例に基づいて処分して下さい。\*段ボール便器は再生紙に利用出来ます。

## セット部品とセット数



便器(A) 1



内枠(B) 1



便座(C) 1



便蓋(D) 1



ひじかけ(E) 2



シール(F) 3



蓄便袋(G) 5

便凝固剤(H) 5

持ち運び袋(I) 5

## 注意

- 便を収容した蓄便袋を可燃ゴミとして処理する場合は市町村の条例に従って下さい。
- 蓄便袋は尖ったものには接触しない様にして下さい。
- 便に異常のある場合は固りにくい事があります。
- 両方のひじかけをもってゆっくりと立ち上がって下さい。
- 湿気の多い所での使用や保管はしないで下さい。
- 便凝固剤は食べられません。
- 幼児の手の届かない所に保管して下さい。

商品名	エコマルⅡ
記号	EMW-2
サイズ	商品:W 54 H85 D45cm (便器の高さ40cm) 外装:W113 H69 D15cm
重量	商品:3.5kg 外装:4.6kg
セット内容	セット部品図を参照
素材	便器:複両面ダンボール ひじかけ:ポリエチレン 便座:複両面ダンボール、ポリエチレン、水性ジェル 蓄便袋:ポリエチレン 持ち運び袋:ポリエチレン 便凝固剤:高分子吸水樹脂、食添用殺菌剤

## ドント・コイの組み立て、設置における注意事項

# 災害用簡易組立てトイレ

# ドント・コイ

## MH型 (洋式・車椅子対応型)

## 設置・使用説明書 (岐阜市仕様)

製造・販売

# Hamanetsu

株式会社ハマネツ

東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勤業ビルディング4F  
TEL.03(6420)3622 FAX.03(5436)3586

### 1 避難所トイレの確保

- 施設のトイレが使えるか否か（水が流れるか・水の確保が可能か等）の確認を早期に行い、使用できない場合は、災害用簡易組立トイレを設置する必要があります。
- 災害用簡易組立トイレの設置が完了するまでは、避難所に備蓄されている「携帯型簡易トイレ」を活用してください。**

### 2 設置場所の選定

- 設置場所については、以下のことに留意して選定します。一度設置してしまつと移動できませんのでご注意ください。
- 複数のトイレを設置する場合は、分散させずに、一ヶ所にまとめて設置すること。
- バキューム車によるくみ取り作業があるため、車が乗り入れやすいように、トイレ周辺に十分な広さの作業空間を確保すること。
- トイレ固定用のペグを打ち込みやすい場所に設置すること。

### 3 設置の連絡

- 災害用簡易組立トイレを設置したら、必ず災害対策本部に連絡してください。**
- 災害対策本部は、岐阜市都市防災部防災対策課へ連絡し、くみ取り作業などの手配をします。**

### 4 組み立てる際の注意

- 部品に手足をはさんだり、さわつて怪我をするおそれがあります。作業の際はなるべく軍手を着用してください。
- 小さな部品がありますので、紛失しないよう注意してください。
- テント式の組立トイレですので、荒天時・強風時に倒壊、飛散しないよう、ペグ、及び土嚢でトイレを固定してください。

### 5 組立訓練の際の注意

- 上記4の事項に加えて、下記の事項にご注意ください
- 下記の部品等は訓練では使用しないでください。再使用できなくなる恐れがあります。
  - ・オーレス（消臭薬剤） ・ペグ ・トイレトーパー
- 屋内で組み立てる際は、床を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- トイレの格納箱を縛っているロープは切断しないで、ロープ止めをはずしてください。しまつときに再利用します。誤って切断したときは、ゴムテープやビニールも等で梱包してください。
- 訓練終了後は、部品等を元通りに格納箱にしまってください。開封の際、梱包状態をメレ、又は撮影しておく便利です。
- 雨や露などで部品が濡れた際は、カビや錆びの原因になるので、乾いたタオル等で十分に拭き取り、乾燥させてから格納箱にしまってください。

## ドント・コイの使用における注意事項

### 1 便ならしバーについて

ドント・コイを使用していくと、便座の真下（便槽内）に大便の山ができ使用が困難になります。  
便ならしバーは、その大便の山をならし、円滑に使用する為の装置です。  
使用後は、定期的に便ならしバーを回転させ便槽内が平らになるように調整して下さい。  
※ 1～2日に一回程度を目安に調整下さい。



### 2 鍵のかけ方について

ドント・コイの前扉（ドアカーテン）には、ドアノブがあり、鍵をかける事ができます。



①前扉を閉め、カーテン金具をポールにはめます。

②ハンドルを180度回転させポールに固定します。

③赤い印が上にきたら鍵が掛っています。

### 3 オールス（脱臭剤ドント・コイ）について

オールスには、多種多様な微生物とミネラルが配合されており、有用微生物の働きによって、悪臭を脱臭し、糞尿を分解します。

○使用方法

組立時に1/3、または半分を便槽内に投入し、残りは悪臭が気になる時に投入して下さい。



### 4 糞尿の処理について

ドント・コイは、個体分を便槽内に貯め、液体分を便槽外に排出できる機能があります。

○便槽背面のホースの説明

- ※ 1 延長ホース・・・液体分のみを排出します。
- ※ 2 最終処理ホース・・・トイレの撤去時に使用します。
- ※ 3 岐阜市仕様では使いません。結束バンドは解かないで下さい。

※ 1 のホースを放流可能なマンホールまで延ばし先端をマンホール内に挿入して下さい。  
(状況に合わせて、部品箱内の延長ホースを使用下さい。)





## 部品 (本体)

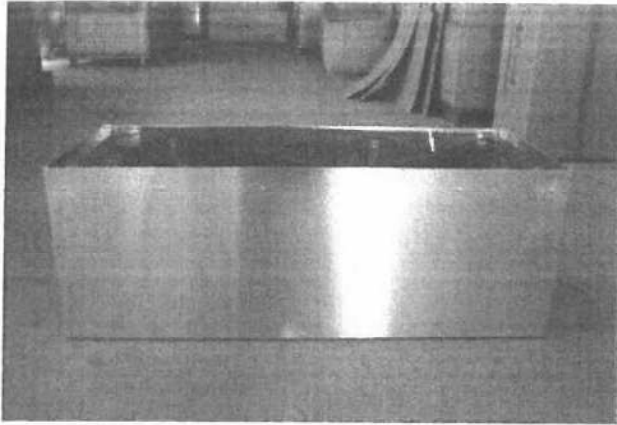
				
便槽外箱 (便槽付き)	蓋	天井枠 (3本)	ポール (12本)	袖金具 (左右各1個)
				
アーム (6本)	アングル	フラットバー	カーテンレール	カーテン
				
テント	便均しバー	ペーパー	取扱説明書	部品箱

## 部品箱 (内容物)

				
バッカー (8本)	延長ホース	オーレス	接続パイプ	ホースバンド
				
ペーパーホルダー	照明ホルダー	固定用ロープ	ヘグ (4本)	表示板
				
予備バックル (2個)	予備ロープ	土嚢袋 (8袋)	梱包状態	

※部品及び部品箱内容物については、仕様により異なる場合があります。

## フレームの組み立て方



① 箱の中から部品を全て出します。



② 袖金具を左右延ばします。  
切り込みが入っている部分(黄色シール)  
が内側で向き合うように置いて下さい。

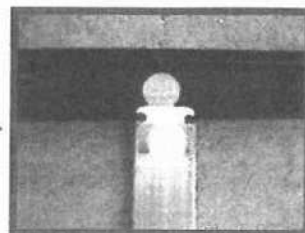


③ 架台とアングルの赤シール部分の穴を  
合わせ、その上からボールを差し込みます。

※ボールは先が細くなっている部分が上向きになるように  
差し込みます。

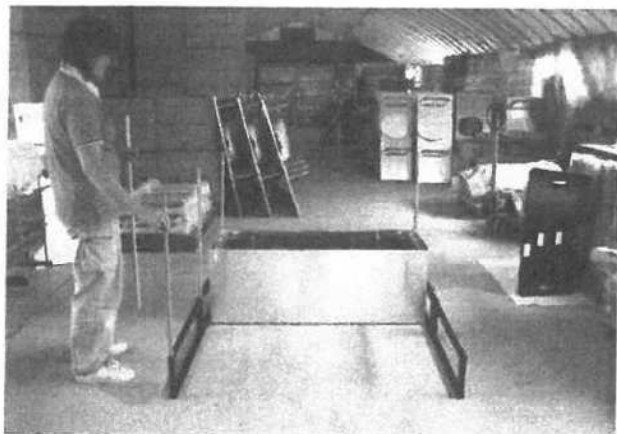


④ 袖金具の黄色シールにフラットバーを  
おきます。

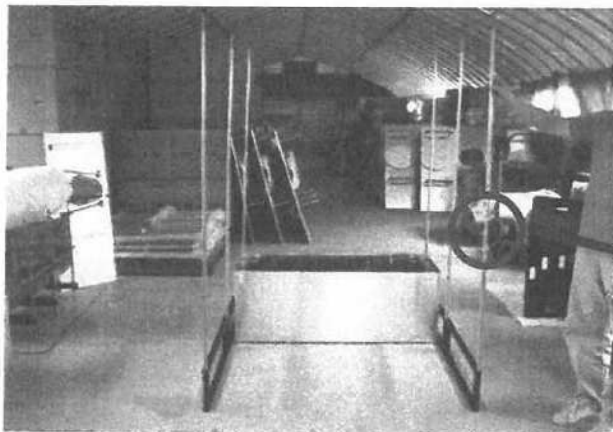




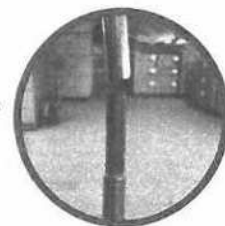
- ⑤ 正面シールが手前になるように、便槽外箱をフラットバーの上に乗せる様に、枠内にセットします。



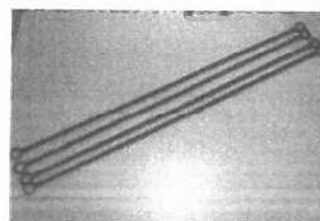
- ⑥ 袖金具の穴に、先が細くなっている部分が上向きになるようにして、ポールを差し込みます。



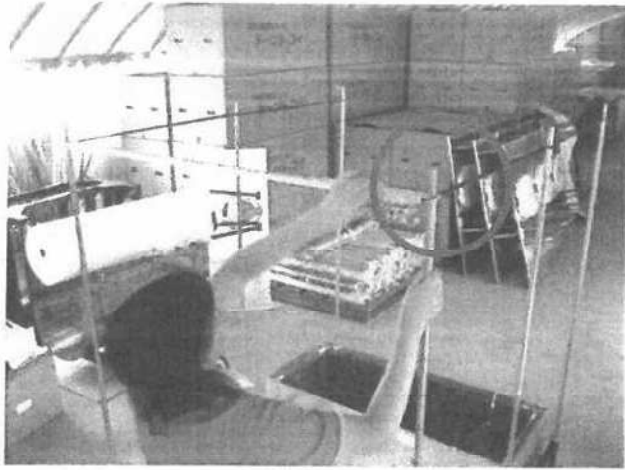
- ⑦ 同様にポールの上から、残りのポールを差し込みます。(この時も、細くなっている部分を上向きにします)



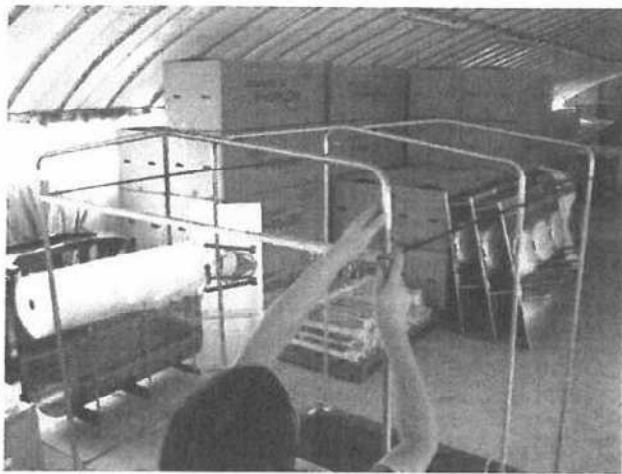
- ⑧ ポール上部をアームで左右2本ずつ繋がります。(アームは両端が円になっているものを使用します)



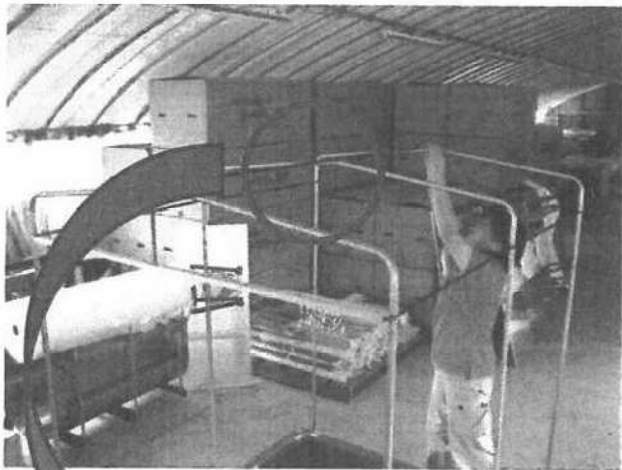




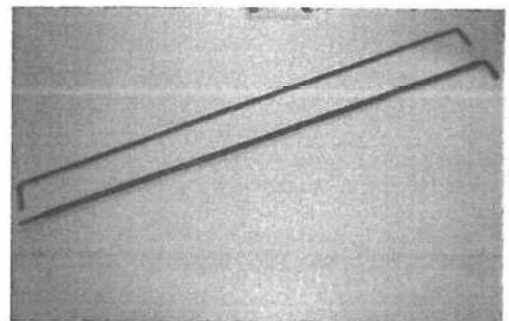
⑨ カーテンレールを正面手前に差し込みます。（レールの付いているほうが下向きになります）



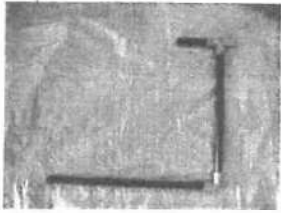
⑩ 天井棧を図のように3本差し込みます。



⑪ 両端と片端がフック型になっているアームを、天井棧の中央上に繋げるように差し込みます。



※天井棧真ん中は上図の様になります。



⑫-1 便均しバー



⑫-2 取手部分を取り  
はずしません。

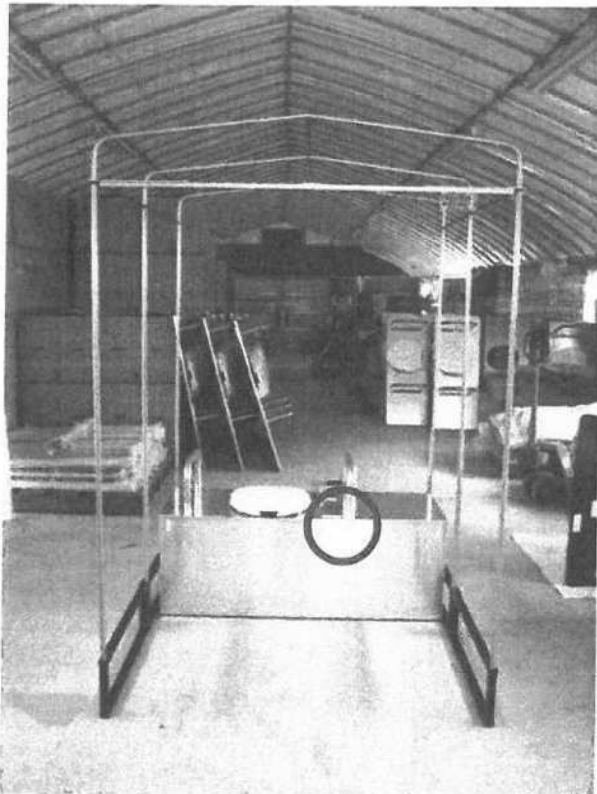
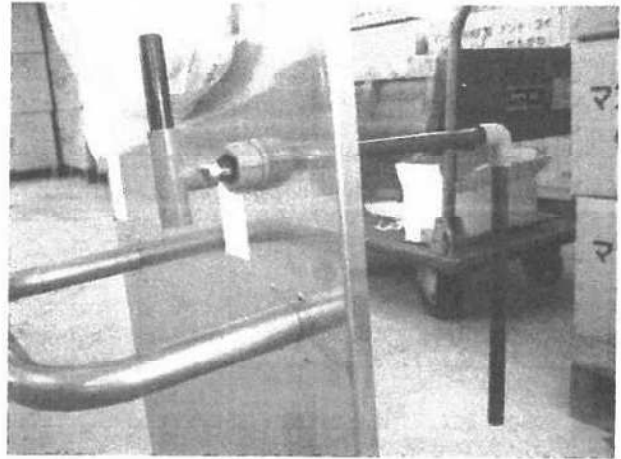


⑫-3 L字の短い方を蓋  
裏から穴に通します。



⑫-4 S字になるように  
取手をつけます。

⑫ 蓋に便均しバーを取り付けます。



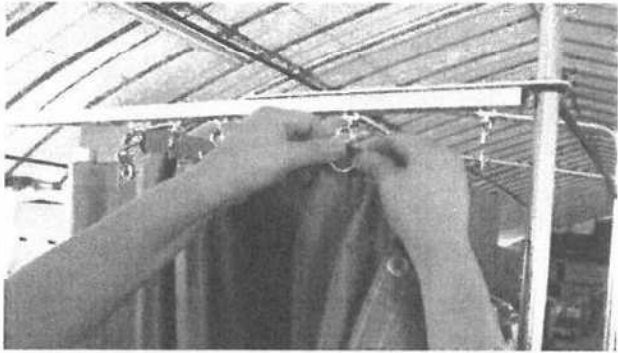
⑬ 正面シールが手前になるように、蓋を  
便槽外箱の上に置きます。

«フレームの完成です»

## テントの取り付け方



- ① カーテンを広げパイプを上下一体につなげます。

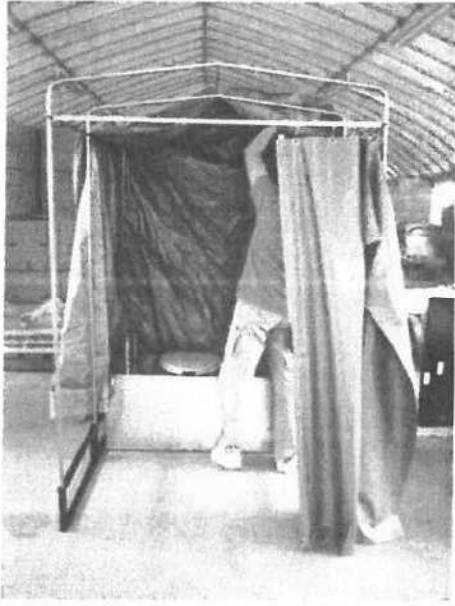


- ② カーテンをレールのフックにかけます。



- \* ポケットが付いている方が外側になります。
- \* ポケットに表示板を入れます。

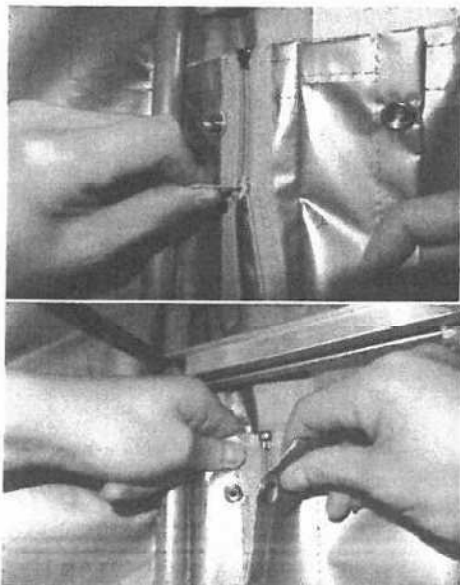




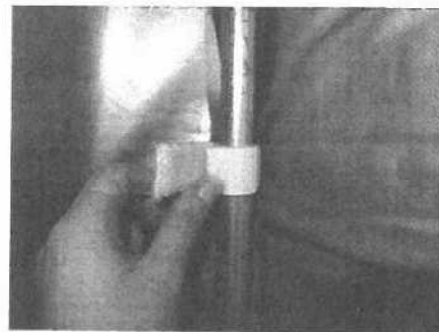
③ テントを広げ、背部からフレーム全体にかぶせます。(三角メッシュ布部分が正面となります)



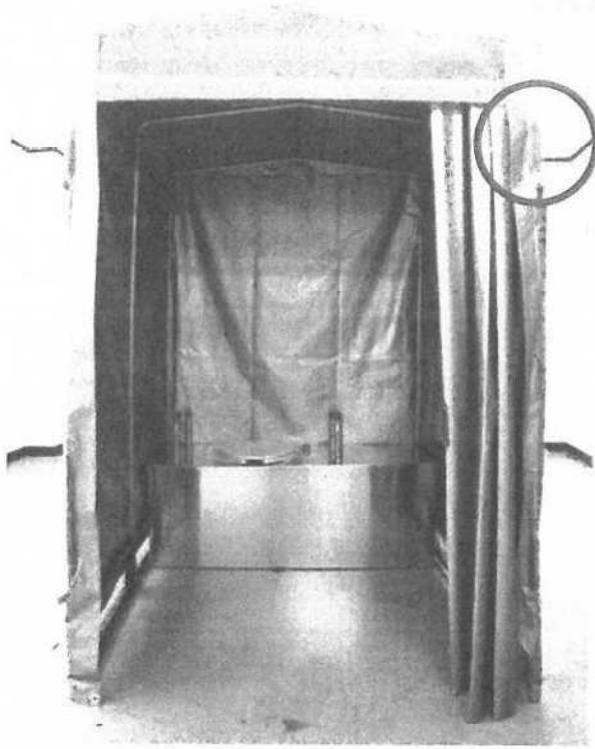
- \* テントの張り具合を確認します。
- \* カーテンの開閉を確認します。



④ テントの内側から、テントとカーテンをファスナーでとじ、次にボタンをとめます。



テントの内側に付いてるマジックテープをポールに巻き付け、固定します。



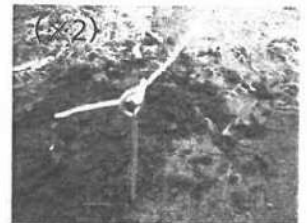
⑤ テント押えパッカーをはめ込みます。



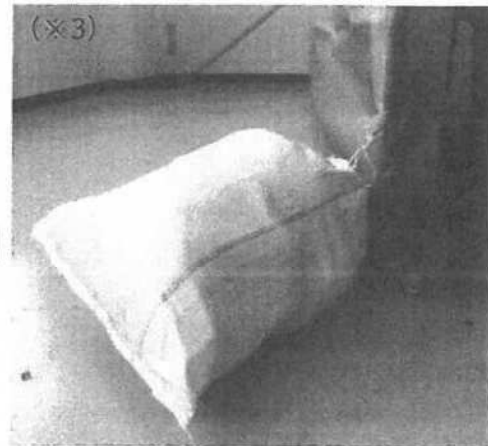
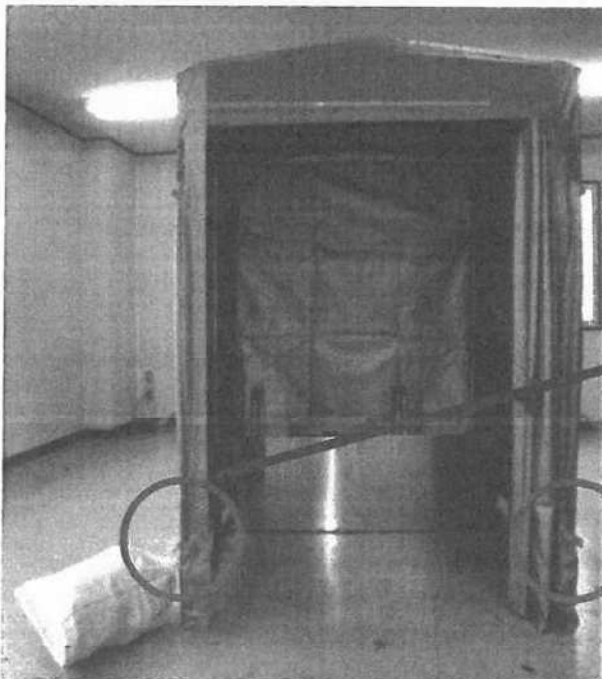
※カーテンの部分は10ページ参照



⑥ 部品箱に入っている固定具で全体を固定します。



(※1) ペグを打ち込みます。  
 (※2) 固定用ロープを結びます。  
 ※写真はペグの場合



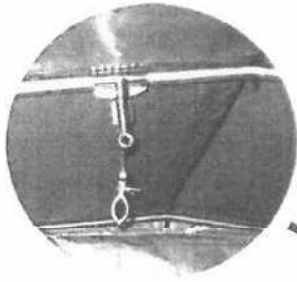
(※3) テント下部のベルトに土嚢袋をつけて、  
 テントを固定します。

## 延長ホースの接続 <<液体分を排出できる場合 (※)>>

(※) 固体部分を貯留槽内に貯め、液体分を槽外に排出すること。

	<p>① 本体の延長ホース (※1) を伸ばします。</p> <p>(※1) 延長ホース…液体分のみを排出します。</p> <p>(※2) 最終処理用ホース…便槽内の全て (固体と液体) を排出するときに使用します。(トイレ撤去時)</p> <p>(※3) 小便器接続口…小便器 (別売り) ホースを接続するときに使用します。</p>
	<p>② 伸ばした延長ホースの先を接続パイプとホースバンドで <u>部品箱に入っている延長ホース</u> とつなげます。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
	<p>③ 放流可能なマンホールまで延長ホースを伸ばします。</p> <p>(下水道が無い場合は、浄化槽のマンホールに流してください。)</p> <p>≪注意!≫        各自治体の担当者に確認して下さい。</p>

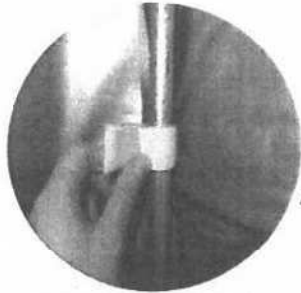




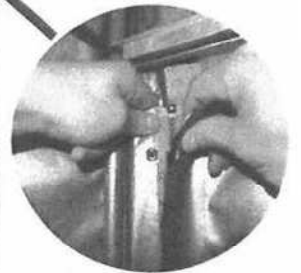
照明ホルダーを  
天井桟にクリップで  
はさんで取り付けます。



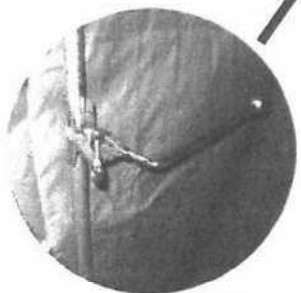
パッカーでポールと  
テントをおさえます。



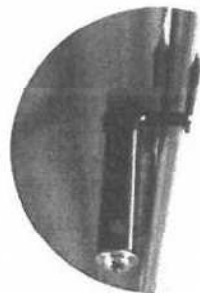
テントの内側に付いて  
いるマジックテープで  
ポールをはさみ、とめます。



テントの内側から、  
テントとカーテンを  
ファスナーでとじ、  
次にボタンをとめます。



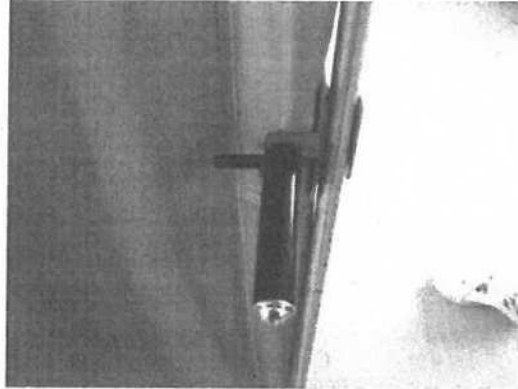
ペーパーホルダーを  
ポールにクリップで  
はさんで取り付けます。



鍵は図の様にポールにはさみこみ、  
ハンドルを180度回転させ、  
ポールを固定します。  
※11ページ参照。

## 鍵のかけ方

①



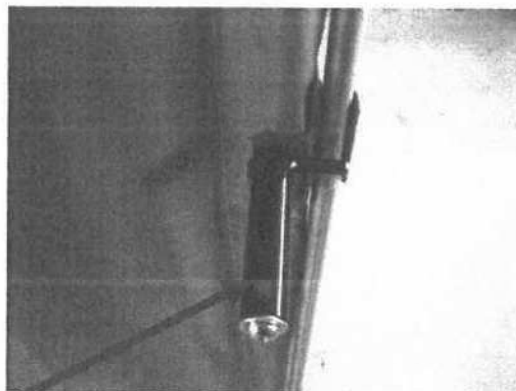
ドアカーテンを閉め、カーテン金具をポールにはめます。

②



ハンドルを180度回転させ、ポールに固定します。

③



赤い印が上にきたら鍵が掛かっています。